



根張り
アップ!

育苗時の処理

農薬併用OK

いずれかひとつの処理でOK!

▶▶ 種籾を浸漬処理する場合

光合成細菌原液を1,000倍に希釈し、24時間漬けてください。
数日浸漬処理する場合は初日に光合成細菌をご使用ください。

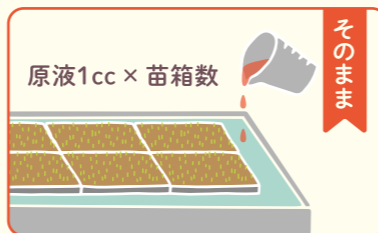


薄める

1,000倍
希釈に
24時間浸漬

▶▶ プール育苗の苗に使用する場合

苗が緑化した後に、苗箱1枚あたりに光合成細菌原液1cc
(例:10枚の場合10cc)を、全体に行き渡るように1回散布し
てください。
※緑化…苗の1葉目が開き2葉目が出始めた頃



そのまま

原液1cc × 苗箱数

▶▶ 田植え時に苗箱処理する場合

苗をご購入の場合は、購入してすぐに苗箱1枚あたりに光合
成細菌原液1ccを与えてください。この場合、散布する水の
量は効果に影響しませんので、散布しやすい希釈倍率で散
布していただけます。



薄めてOK

原液1cc × 苗箱数

稲作への 使用方法

水田への散布方法

農薬併用NG

⚠ 農薬を使用する場合は、
光合成細菌散布から1週間
以上空けてください。

美味しい
お米にな〜れ!



1回目 田植え1週間後

水深1~2cmまで落水した状態で水尻を止め、光合成細菌原
液10リットル(10aあたり)を水口から流し込んでください。
その後、水深10cmくらいまで入水し、数日間は落水しない
てください。



そのまま

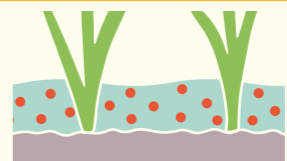
2回目 出穂30~40日前(幼穂形成期)

水深1~2cmまで落水した状態で水尻を止め、光合成細菌原
液10リットル(10aあたり)を水口から流し込んでください。
その後、水深10cmくらいまで入水し、数日間は落水しない
てください。



そのまま

流し込み直後は圃場の中の菌数に10~100倍のばら
つきがありますが、光合成細菌は圃場の中で増殖
し、数日のうちにほぼ均一な状態になります。



活用事例・効果

コメ

- 生産性向上
- 冷害、干ばつへの抵抗性向上